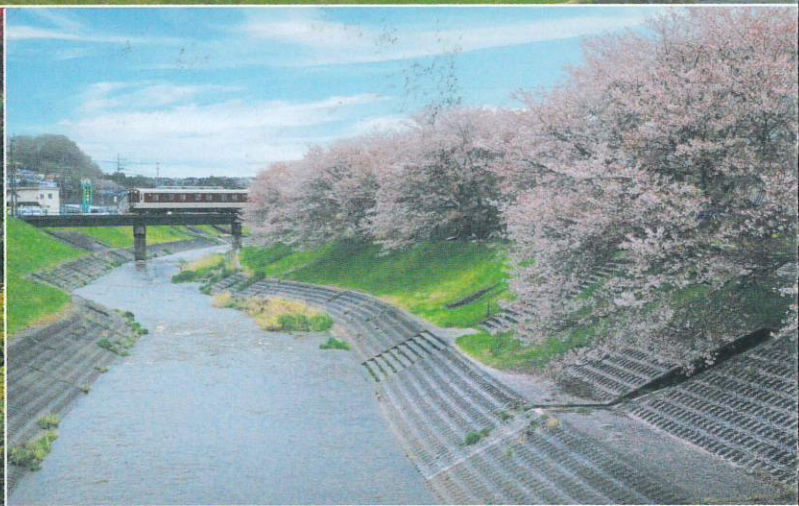
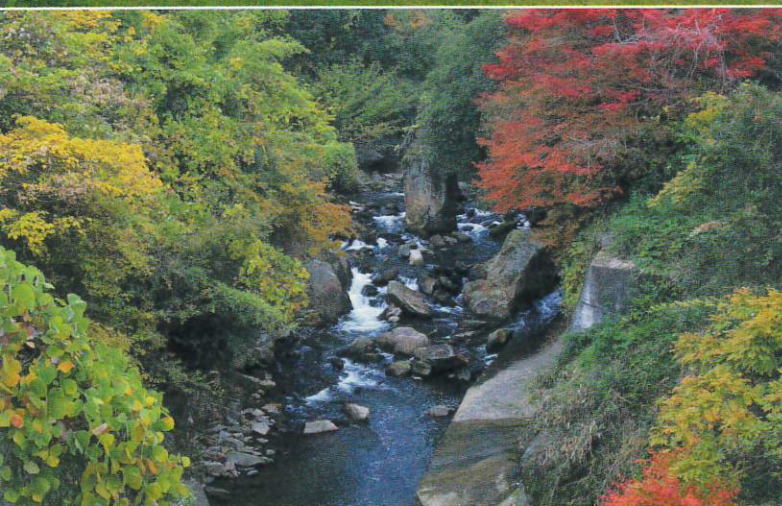


「竜田川まほろば遊歩道」 整備構想



①「竜田川まほろば遊歩道」の名称について

「まほろば」の言葉の意味は「丘や山に囲まれた中央の最も優れた所」というようなものとされています。『古事記』ではヤマトタケルが東征を終えて帰る途中、能煩野^{のぼの}に至り故郷を思っ^{やまごも}て『倭は国のまほろば たたなづく青垣 山隠れる 倭しうるわし 命のまたけむ人 置こも 平群の山の くまがしが葉を うずに挿せ その子』と詠っています。「竜田川まほろば遊歩道」の名称は、多数頂いた応募から選ばれました。

②構想の整備目標と改定の趣旨

竜田川は、平群町のほぼ中央を貫流し、町の特色ある景観・環境資源の骨格を形成しており、古くから住民に親しまれてきました。

これまでに河川沿いの空間を活用した親水公園の整備や植栽(桜並木)が進められ、竜田川の環境美化等に対する住民意識の高まりや住民活動の活発化などがみられます。

それをうけて、平成19年に地域資産である竜田川の“水辺・花・歴史”等の資源を活かした、まちの活性化・生活環境等の向上につなげるために『竜田川まほろば遊歩道』整備構想を策定しました。

構想を策定してから10年が経過し、この間、目標達成に向けて一つ一つ課題解消に取り組んできました。

その結果、主要な目標は達成できましたが、竜田川における周辺環境や地域の要望なども時代と共に変化が見られます。

このため基本的な目標は継承しつつ、これまでの取り組み内容について精査し、見直しや新たな施策の追加により、次の行動指標となる新たな構想として改訂を行いました。

これをもとに引き続き地域住民と町、県、関係団体との連携のもとに構想を推進してまいります。
(平群町第5次総合計画に「竜田川の魅力づくりの推進」として重点政策に位置付けられています。)

③基本理念と目標

4本の大きな柱	目 標
1. 環境・景観美化	● 竜田川を「ふるさとの川」にふさわしい空間として環境・景観美化を図ります。 ● このため、うるおいとやすらぎのシンボル資産である竜田川を、次世代により良いかたちで守り育てていくため、川の環境や景観の美化に資する住民主体の活動を活性化していきます。
2. 地域の活性化	● 川沿いの周遊性を高め、地域内外の人が集い、楽しみ、やすらげる空間を形成します。 ● このため、観光・交流活動の推進を図ります。また、環境学習の題材としても活用し、町内外に広く知ってもらうための広報・PR活動を推進していきます。
3. にぎわいの創出	● 平群町中心部において、にぎわいを創出する空間を形成します。 ● このため、川を住民等の交流空間として利用活用を図り、コミュニティの育成、多世代交流の促進、にぎわいづくり等を推進します。
4. 住民主体の地域づくり	● 住民主体による川づくりをきっかけに、協働の地域づくりを推進します。 ● このため、環境美化、景観形成といった住民主体の各種活動を育成・促進します。そして、これらの活動をきっかけにして、川づくりのみならず、協働の地域づくりへと発展させていきます。

④目標年度

平成30年度からの10年間を目標年度とする。

⑥基本理念を実現するための具体的な取り組み

1. 環境・景観美化

みんなで「ふるさとの川」を守り育てる
環境・景観美化活動の促進

- 川の環境・景観を守る住民・団体活動の促進
・川辺の草刈り、散策路等のゴミの回収、川の清掃活動
- 川沿いの美しい景観を創り育てる活動の促進
・桜等の植樹イベント(桜並木づくり)
- 小学生等による環境学習カリキュラムの充実など、ふるさとの川(の環境)に対する関心・理解を醸成する学習機会の創出



2. 地域の活性化

観光・交流活動の推進による
地域の活性化

- 観光魅力の増大を図るため、ホームページを開設し、遊歩道の概要取組内容、各種イベントの開催予定等々を広く公開
- 遊歩道の利用促進のための竜田川「まほろば遊歩道」てくてくマップは今後も継続して発行
- 道の駅や宿泊施設等から遊歩道を利用した散策ルートを設定し、ホームページやマップに掲載
- 竜田川の季節状況をお知らせする季刊誌等の発行(検討)
- 散策ルートをわかりやすくするため竜田川を遊歩道を中心としたジオラマを製作し、道の駅等に設置



3. にぎわいの創出

平群町中心部の
にぎわいの創出

- 遊歩道沿いにおける桜まつりと夜間のライトアップ、季節の花のイベントを開催
- 五月晴れに勇壮さを競う鯉のぼり町内大会を開催
- 親水公園等を利用したフォトコンテスト、絵画コンテスト、ミニコンサート等を開催
- 遊歩道を散策する「歩く会」や「スタンプラリー」等を開催
- 竜田川にかかる橋の名前当てクイズラリーの開催



4. 住民主体の地域づくり

住民主体の地域づくりに向けた
きっかけづくり

- 緑化の推進(花いっぱい川のづくり)
・A～Eの各ゾーン毎 親水公園等に周辺住民による花ガーデンづくりを推進し、コンテストなどを開催
- 住民主体の川づくりを担う組織・人材の育成
・専門家を招き川べり、遊歩道づくり勉強会の開催
・川べり、花ガーデンづくりリーダー・指導者の育成



⑦これまでの主な取組実績

●遊歩道関係

- ・平群橋～櫟原橋間 約1,000mの遊歩道の舗装を奈良県の協力により完成
- ・遊歩道の道路標識、道路案内板計24ヶ所を奈良県の協力により設置し完成
- ・遊歩道の曲り角や、橋の両端等に50枚の道しるべを設置

●花木の植樹・植栽関係

- ・当協議会は竜田川ネット(ボランティア団体)から引き継いだものを含め、合計173本の桜木を植樹
- ・植樹した桜木の手入れ、根元の草刈り、害虫駆除を実施
- ・桜の専門家による手入れ方法等の相談会を適宜開催
- ・季節の花々を植栽したプランターを町役場周辺および近鉄4駅前に合計約60個を設置

●河川的环境・景観美化活動

- ・ふるさとめぐりクリーンキャンペーンの実施
- ・馬鋤淵付近の草刈り、河川のゴミ回収作業
- ・西向橋上流の川べりにある竹林の整備
- ・竜田川一斉清掃への参加

●広報・PR活動

- ・竜田川「まほろば遊歩道」てくてくマップの発行
- ・桜木植樹の里親を平群町広報誌、ホームページにおいて広く公募

⑧整備の推進体制

★ 構想を具体化していくために平群町、各自治会、町内ボランティア、各種専門家、奈良県等で構成される「竜田川まほろば遊歩道推進の会※」を設立しました。

(※H19年4月に設置し、H30年3月に多くの方に親しみやすいように名称を変更しました。)

★ 推進の会では具体的な計画立案を行い、関係機関への働きかけ等を行っています。

また、推進の会独自の活動や他の事業への協力についても積極的に取り組みます。

★ 推進の会の事務局は平群町とし、平群町役場内に設置しています。

※会員(団体名等)：

竜田川ネット／年金者組合／平群里山クラブ／竜田川を清流にする会／友遊クラブ／竜田川環境浄化推進協議会／平群ホタルッチの会／
橈原自治会／西向自治会／上庄自治会／梨本自治会／吉新自治会／下垣内自治会／西宮自治会／椿井自治会／平群町造園組合／
郡山土木事務所／平群町

竜田川まほろば遊歩道推進の会 事務局

平群町役場 都市建設課

〒636-8585 奈良県生駒郡平群町吉新1-1-1

電話:0745-45-1001(代表) FAX:0745-45-0211



竜田川「まほろば遊歩道」てくてくMAP



⑤ ゾーン毎の整備方針

竜田川は平群町の北から南の端までわたって流れています。流域の特徴をとらえてゾーン毎の整備方針を示しています。

Aゾーン 東山駅周辺～元山上口駅周辺

- ① 東山駅～遊歩道への遊歩道の入り口をわかりやすくするための案内板の設置します。
- ② 馬鋤淵周辺は桜の植樹、草刈りや河川内外の清掃活動の定期的な実施します。
今後ともその取り組みを継続します。
- ③ この区間の川沿いには「勧請縄」「奇岩」があり、風光明媚なところであるが、機原橋～機原橋間は山側迂回ルートになっています。通行不可の川沿いルートの中長期的に整備し、観光の利用促進を図ります。

Bゾーン 元山上口駅周辺～平群大橋

- ① 桜木の植樹も進み桜並木となってきたので散策路として、また観光用として遠方からもよく見える桜並木の表示板を設置します。
- ② 遊歩道は舗装されほぼ完成しましたが、西向橋から平群大橋間の川沿いは桜等の植樹により散策路としての魅力の強化を図ります。
- ③ 川沿いには散策途中の休憩場所として東屋等の整備を図ります。
東屋等には周辺住民による草花等の植栽コーナーを設け、催しの場としても魅力を高めます。

Cゾーン

- ① 平群小学校
住民による
ります。
- ② 町の中心部
促進をはか
桜木の植樹



鯉のぼり



遊歩道



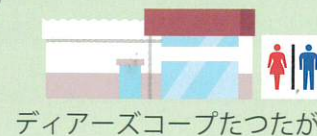
遊歩道



平群南小学校

椿井親水公園

ゆめさとこども園



ディアーズコープたつたがわ

平群バイパス

平群駅

168



道の駅

平成20年
桜11本植樹

竜

竜田川さくら親水公園

竜田川駅

近鉄生駒線

遊歩道

平成28年
桜11本植樹

鯉のぼり
4月~5月

ライトアップ
3月~4月

● 烏土塚古墳

平群
中央公園

● 西宮古墳

平群町役場

Cゾーン②
整備予定地

平成26年
桜20本植樹

平成21年
桜10本植樹



遊歩道



西宮古墳



桜のライトアップ

桜の開花にあわせて、プリズムへぐり周辺では、桜のライトアップを実施しています。



烏土塚古墳

飛鳥石舞台に匹敵する巨石古墳、6世紀後半の前方後円墳、横穴式石室をもつ、国の指定史跡。

トイレは公共施設やショッピングセンター、コンビニなどをご利用ください。



Cゾーン

Dゾーン

Eゾーン

平群大橋～森脇橋

平群大橋の福貴親水公園には、桜の植樹等環境整備を進めていますが、公園内に草花の植栽コーナーを設け散策ルートの休憩場所および公園の魅力強化を図ります。

公園内に位置していることから、町役場周辺は親水、交流空間として拠点的な利用の必要があります。そのため周辺一帯を公園として整備し、シンボルとなる、休憩用東屋や周辺住民による草花の植栽コーナー等の設置を進めます。

Dゾーン 森脇橋～竜田川駅周辺

- ① 右岸沿いを中心に桜木の植樹、清掃活動等の環境整備を図ってきましたが、近鉄鉄橋からプリズムへぐり間は、今後も植樹を進めると共に季節に合わせて川べりの空間を活用した催し物を開催していきます。
- ② プリズム前に植樹した桜並木と一連として、季節に合わせた催しものを開催し、遊歩道の魅力向上を図ります。
- ③ 散策ルート途上にある既存の西宮親水公園を活用して、周辺住民による草花の植栽コーナー等の設置を進めていきます。
- ④ 公園内に大きく育った桜並木を中心に季節に合わせた催しを開催し遊歩道の魅力向上を図ります。

Eゾーン 竜田川駅周辺～椿井親水公園周辺

- ① 椿井大橋は南方面からの平群町への玄関口に位置しており、遊歩道をアピールするため、大橋周辺に植樹を進めると共に町のシンボルとなる空間を目指します。
- ② 椿井親水公園内には周辺住民による草花の植栽コーナーの設置を進めます。
- ③ 遊歩道の南端にあたる新椿井橋付近に遊歩道への案内板や遊歩道入り口をわかりやすくするなど、散策ルートの利用促進を図ります。